



矢野 弾 (やの だん)

1932年生まれ、福岡県飯塚市出身。55年成城大学卒。58年矢野経済研究所設立に参画、取締役就任。2003年株式会社潮流者社社長、月刊カレント発刊。現在は沖縄ファンクラブ会長、世田谷商人塾顧問、日本童謡の会副会長などを務める。

田村 能里子 (たむら のりこ)

1944年生まれ、名古屋市千種区出身。愛知県立旭丘高校美術過程卒、66年武蔵野美術大学油絵学科卒。婚姻で田村姓となり夫の赴任地であるインド東部の都市カルカッタへ。1986年には文化庁芸術家在外研修員として中国に派遣。88年、中国・西安のホテル・唐華賓館のロビーに壁画を制作。以降、日本各地の駅や病院、大学、デパートなどに壁画を制作してきた。

洋画家・壁画家 田村 能里子さん が語る

愛知・旭丘高出身「私の画歴と人生と」
(聞き手・矢野 弾氏)

私ども東海財界誌は経済という範疇にとどまらず、広く芸術、スポーツ、報道などの分野でも活躍されている、地元にご縁のある方々もご紹介しております。本日は、弊誌と同様に経済誌を発行されている矢野弾さんのご紹介で名古屋出身の壁画家田村能里子さんとの素晴らしい対談が実現いたしました。地元愛知にはたくさんの方々がいらつしやいます。楽しいお話がいっぱい聞けそうで胸がわくわくしております。(塚本隆・中部財界フォーラム社長の挨拶)

矢野 私は田村さんとは同じ世田谷の住人というご縁です。田村さんは名古屋で子育てになりました。絵を始められるきっかけからお話を始めましょう。

田村 名古屋は昔から芸どころといわれる土地柄で、私も絵だけでなく算盤やお習字も習いました。絵は春陽会の上原欽二先生(一九一五―二〇〇一年)に習っておりました。絵描きさんのイメージそのものの方で、その風貌と華やかな色彩の画風にもあこがれていました。私の最初の恩師です。

矢野 習い事の中でもやはり絵が一番お得意だったわけですね。

田村 中学校では、担任が絵の先生でした。熱心にご指導いただき、この先生からの情報でしよう、旭丘高校に美術科があることを知り受験したのです。旭丘では